

魚津の教育

魚津市教育センターだより171号

令和5年7月 発行

魚津市教育センター

魚津市村木町1-21

〒937-0053 TEL(0765)23-9161

「夏休み ちょっと振り返って」

魚津市教育委員会 教育長 山瀬 敬

もうすぐ夏休みですね。みなさん、今年の夏休みはどう過ごしますか。授業中とそんなに変わらず、忙しいことと思いますが、懸命に働いた1学期、夏休みは、授業中とはちょっと違った生活があってもいいのではないのでしょうか。

私は、随分回り道をして教員になり、また、呑気な性格もあるのか、ボツとしながら考えることが好きです。教員になり立ての頃は、『教職員にとって夏休みはどんな意味があるのか?』よく、そんなことを考えていたなあという思い出があります。

35歳の時、衝撃的な出会いがありました。それは、1枚の写真でした。

1977年9月 NASA（アメリカ航空宇宙局）は太陽系の探査のため、無人探査機「ボイジャー1号」を打ち上げました。木星や土星に最接近し、鮮明な画像や貴重なデータを送ってきました。所期の目的は達しましたが、わずか700kgの探査機は、打ち上げから46年経過している現在も、太陽から140億kmのところを飛行中ということです。

衝撃の出会いとは、この「ボイジャー1号」が、1990年2月24日、地球からの呼びかけに応じ、振り向いて65億kmの彼方から撮った、針の先ほどの地球の写真です。その写真の地球は『Pale Blue Dot』 淡く 青く 小さな点と言われています。本当に衝撃的で、私に多くのことを考えさせてくれました。

ボイジャーが振り向いて撮ってくれた写真は、過去においても、未来においても、我々の唯一の故郷である地球をはるか彼方から捉えた写真です。小さな小さな地球ですが、かけがえのない存在であると強く感じます。

もし、「ボイジャー1号」が振り向くことがなかったら、この写真の存在もなかったことでしょうし、また、何事もなかったかのように、たんたんと時間はこれまでと同じように流れていったでしょう。

やはり、突き進むだけでなく、自分を振り返ってみることも必要です。それも、いつもの働く場所から、普段の生活から、少し距離をおき自分を振り返ってみることかなと思います。旅に出てみたり、山や海に行ったり、美術館に出向いたり、教育とは全く違う分野の本を読みふけったりすることもいいのかもしれない。もちろん、あなたのスタイルで!

私たちは過去を反省し悔やみ、未来を不安や悩みを抱えながら日々を送っています。しかし、過去、未来という客観的な時間はないと思います。そう考えるならば、夢のある未来に自分の思いをおもいきり飛ばして、そこから現在を逆に映し出してみることでもあるのではないですか。これからのこと、未来への道標がみえてくるかもしれません。

きっと、現在を生き抜くための力となる希望や夢が生まれてくると信じています。その先には、あなたの新たな挑戦が待っているかも。

そんなことができる、考えることができるのは、夏休みです。

※「ボイジャー1号」が撮った写真『Pale Blue Dot』は、現在、画像処理され、大変鮮明になった写真として見ることができます。ぜひ、見てください。

「自ら考え実践する生徒」

西部中学校 よしかわ 吉川 まりあ

富山県で採用され、西部中学校での勤務が始まり、早いもので4か月が過ぎました。素晴らしい生徒と、先生方に恵まれ、やりがいのある日々を過ごしています。

私は昨年度まで大阪府で勤務していました。「教師」という仕事は同じであるにも関わらず、学校のシステムや文化、生徒、地域の雰囲気が全く違います。戸惑うことばかりで、迷惑をかけながら、先生方や生徒たちに助けられてばかりの毎日です。

西部中学校に赴任して、一番驚いたことは、「生徒の主体性」です。最初感じたのは、赴任してすぐの入学式準備と合唱練習です。「準備」といっても、私自身の役割はあるものの、何をしたらよいかもわからない状況でした。ところが、生徒たちは私が何も指示しなくとも、「自分が今すべきこと」を考えて行動していました。また、入学式の練習で行われた合唱練習が本当に素晴らしいものでした。指揮者の生徒が自分の言葉で入学式や新入生に対する思いを2、3年生に語り掛ける姿。また、それに全力で応えようとする2、3年生たちの姿。こんなに素晴らしく感動する練習を目の当たりにしたのは初めてでした。

この4か月の間、教育目標にもあるとおり、「生徒一人一人が自ら考え、行動する」場面を数多く目にしました。その度に「この素晴らしい子供たちが成長していくために、今自分にできることは何か」を真剣に考えるようになりました。

今までの経験を生かしながら、先生方や生徒から、多くのことを学んでいきたいと思っています。また、その学びを自分の力とし、西部中学校、魚津市に返していけるよう、精一杯力を尽くします。



「魚津市の学校に赴任して」

西部中学校 たてばやし ゆうじ 館林 裕二

縁あって、今年度から西部中学校で勤務しています。西部中は、若い先生からベテランの先生まで適材適所で活躍し、職員室はとも活気に満ちあふれています。

昨年度まで勤務していた長野県の中学校から富山県に来て2か月が経ちました。地域ごとにいろいろな文化や特色がありますが、どの地域でも中学生は素直で生き生きとして輝いており、本質は変わらないと感じています。

新天地への赴任で不安を感じながらのスタートでしたが、生徒の素直な行動や言葉に助けられた場面が何度もありました。そんな生徒たちと様々な経験を通してお互いに成長していきたいと思っています。

しかし、学校生活では思い通りにいかないことも多く、時には生徒が反発したり、生徒同士のトラブルが起きたりします。そんな時にこそ、自分がどんな態度で生徒に接し、どんな心持ちで対応できるかが、大切だと思います。教師が思うままに指導をしても、本当に生徒のためにならず、それをきっかけに心を閉ざしてしまったり、トラウマを抱えてしまったりすることもあり得ます。だから、そうなった経緯など、生徒にじっくり話を聞いて、一緒に課題を解決していく関わり方をしたいと思っています。それで、一つの出来事から獲得できる経験や能力は格段に大きくなるはずですが、教師の出来事への向き合い方が、生徒の生きる力を付ける上で重要になってくるのではないかと思います。

新たな生活を生徒たちと共に創り上げていきたいです。



「共に成長する教師」

よつば小学校 いしだ ほのか 石田 穂香

よつば小学校に赴任し数ヶ月がたちました。2年生の担任になり、周りの先生方に助けられながらの毎日です。

私が教師になることを決意したきっかけは大学2年の時の教育実習です。元々、子どもと関わることは好きでしたが、教師の働きかけによって「できた」「分かった」と目を輝かせている児童の姿に触れ、学ぶことで成長する児童と共に自分も成長したいと思いました。

ところが、授業はなかなかうまくいきません。発問がうまく伝わらなかったり、指示が曖昧で困惑させてしまったりと反省することがたくさんあります。児童同士のトラブルもうまく仲介できず、お互いの気持ちをすっきりさせることができないときもあります。その度に、児童の本来もっている能力やよいところを引き出せていないと悔しくなります。そんなときでも、あたえられた課題に一生懸命応えようと努力し、できたときに満面の笑みになる姿を見ると、教師になって本当によかったと感じます。

よつば小学校の先生方や初任者指導の先生からは、児童との接し方や授業のこつ、実態に合わせた指導の仕方等、様々な視点から丁寧に指導していただいています。周りの先生方の児童に寄り添う姿勢に習って、私も児童と共に成長していきたいです。



「日々勉強、日々成長」

清流小学校 くるまたに りゅうた 車谷 竜太

私は、小学校6年生のときの恩師から強い影響を受け、「小学校の教師になりたい」と考えるようになりました。この春、ついにその夢を叶えることができました。今までずっと背中を押し続けてくれた家族に、心から感謝したいと思います。

赴任してから2か月以上が経ちましたが、毎日時間が過ぎるのが本当に早いと実感しています。そして少しずつですが、ようやく仕事にも慣れてきました。すべてが初めて経験することなので、失敗することや分からないことが多く、未熟な自分を痛感する日々です。一方で、「一日一日が勝負だ、勉強だ」という、とても新鮮な気持ちで勤務しているのも事実です。周囲の優しく温かい先生方に支えられているおかげで、日々成長を実感できています。いつも感謝の気持ちをもって過ごしています。

子供たちはとても可愛らしく、明るく元気に一生懸命、学習に取り組んでいます。そんな子供たちが少しでも「今日も楽しかったな」「明日も学校に行きたいな」と心の底から思ってくれる学級をつくっていきけるよう、精進していきたいと考えています。



「やりがい」

西部中学校 てらだ ゆういちろう 寺田 雄一郎

県外から前任校に赴任して7年。富山の学校現場にも「やっと慣れてきたかな……」と思い始めた矢先、今年度西部中学校に異動が決まりました。仕事の内容に大きな違いはないものの、ちょっとした勝手の違いに戸惑う日々。そんな自分を横目に若い先生方の、情熱とスピード感をもって仕事に向かう姿を見て、「もう一度、初めから」と腹をくくった4月でした。

土日もなく、夢中になって仕事に打ち込んでいたのも今は昔。情けない話ですが、年々「やれやれ……」と重い腰を上げるように仕事に向かうことが増えてきたように感じます。「アフターコロナ」に、「教員の働き方改革」、「GIGAスクール構想」、「ブラック校則の見直し」、そして「部活動の地域移行」……。今、教員に求められることと、自分がこれまで大切にしてきたことにズレが生じているせいなのか、それとも年のせいなのか。

そんな私が、今年度取り組んでみたいことは、教員として仕事の「やりがい」をもう一度掘り起こしてみることに。「学校教育の最大の強みは、“集団生活”」、神戸の初任校で、強烈に刷り込まれたこの思いに、今のところブレはありません。が、アップデートの必要性は感じています。こんな時代だからこそ、“夢”と“感動”、そして“ドラマ”のある学校生活につながるアプローチを再考し、教員としての仕事の「やりがい」を実感したいと思います。



令和5年度 魚津市教育センター 運営の方針

教育センターは年2回「センター運営委員会」を開催し、委員の方々からご意見をいただき運営しています。2月に行われた運営委員会では、昨年度の事業の反省と次年度の事業計画が話し合われ、運営に関する貴重な助言をいただきました。
令和5年度の運営方針は以下の通りです。

1 基本方針

魚津市内の小・中学校における地域性豊かな教育活動の推進と教職員の指導力向上を図るため、学校や関係機関との連携を密にし、時代の変化に対応した教職員研修の充実や教育活動に係る研究調査、教育情報の収集・提供に努める。

2 事業の重点

- ・ 教育の今日的な課題や教職員のニーズに対応できる研修事業を行い、教員のキャリアに応じた資質及び指導力の向上を図る。
- ・ 児童生徒の学力の向上を図るために、教員に研修の場を提供するとともに、市内小
- ・ 中学校のデータセンターとしての役割を担い、学力調査等の分析結果の活用や各校の取組の交流を推進する。
- ・ 児童生徒の健全育成を図るために、心の教育を推進し、生徒指導の体制づくりや教育相談等の充実努める。
- ・ 郷土の自然や歴史、文化、産業について体験的な研修を推進するとともに、地域の特性を生かした教材の開発や資料の提供に努める。
- ・ 高度な情報社会に対応するために、「GIGAスクール構想」、「魚津市教育情報化整備基本計画」等に基づき、教員のICT活用指導力の向上、情報モラル教育の推進を図る。

3 今年度の事業について（令和4年度からの変更点）

- ・ 魚津市スクールカウンセラーを新たに配置し、充実した教育相談活動の推進を図る。
- ・ 今年度より、中堅教員研修をなくし、若手教員研修会に中堅教員数名を推薦し、パネリストやアドバイザーとして参加する研修会とする。
- ・ これまでの「特別支援教育コーディネーター研修会」をなくし、研究協力員も委嘱しないこととする。新たに「魚津市特別支援教育研究会」を発足し、会員は各校の特別支援教育コーディネーター、特別支援級担当、通級指導担当者とする。また、第1回の研修会には、各校の教頭も出席し、校内での特別支援教育体制の共通理解を図ることを目指す。
- ・ 「魚津の教育」を魚津市教育センターからの情報発信型とし、センターの活動について周知していく。
- ・ 授業改善のヒントとなるよう、学力向上講演会を国語科、算数科、それぞれの授業づくりについて多くの講演会を行っている講師を招聘する。

令和5年度

要 覧



魚津市教育センター

T937-0053 魚津市山崎町1番21号
電 話 (0765) 23-9161
FAX (0765) 23-9214
教員相談電話 23-1717
E-Mail uozu@uozu-c.tym.ed.jp
URL <http://www.uozu-c.tym.ed.jp>



魚津市教育センターHPもご覧ください。
<http://www.uozu-c.tym.ed.jp/>

■「魚津っ子学び向上委員会」の取組について

「魚津っ子の学び向上委員会」は、魚津市教育振興基本計画に基づき、魚津市の学校教育の充実を図るために、児童生徒の「確かな学力を育む教育の推進」と「豊かな心を育む教育の推進」を重点目標とし、その取組の企画・運営及び研究推進の中心にあたる組織です。

学び向上委員会は4つの部会で構成しており、令和5年度の各部会の取組については、以下の通りです。

【学力向上部会 教頭会】

○ICT端末を活用した授業づくりに関する取組

3か年の取組の2年目として、各小・中学校で取り組まれている「主体的・対話的で深い学び」につながるICT端末を活用した取組の事例（協働的な学びを中心に）の収集・分析を行い、成果や課題、改善点等を明確にしてさらなる実践を促す。

○小・中学校間の授業互見

参観者はアンケートで、問題解決型の授業の在り方について、よい点やアドバイスを記入することで、授業者が授業改善に生かすことができるようにする。

【学力向上部会 教務主任会】

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり

資質・能力の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりに取り組む。特に今年度は、「課題発見・解決学習」をはじめとした「主体的な学び」に重点を置いて、各校で実践する。

○「ふるさとキャリア教育」の教育計画の作成

令和4年度作成「魚津市ふるさとキャリア教育が目指す具体の姿」を基に、各校の取組を見直し、改善を図る。

○学校間共有フォルダの有効活用

- ・各校の学力向上を目指した取組に関して使用されている資料等を共有し、よいものを有効活用できるようにする。
- ・教務関係業務について容易に情報交換及び、共有・活用できるようにし、業務改善につなげる。

【心の教育推進部会 教頭会】

○「魚津ふるさとキャリア教育」グランドデザインの見直し

- ・令和4年度に作成したグランドデザイン及び「『魚津市ふるさとキャリア教育』が目指す具体の姿」を各学校で周知し、活用を進め、問題点や疑問点、改善点等を検討し、見直しを図る。
- ・グランドデザインに「とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）」の推進を踏まえ、探究型の学習の視点を取り入れ、学び方や学ぶ姿が明確になるようにする。

○ふるさと教育の定着と内容の充実

- ・令和7年度末の「ふるさとうおづカルタ」完成を目指し、計画的に作業を進める。5年度は読み札、6年度には絵札（写真）をそろえ、7年度にはすべての札の見直し、最終確認を行う。

○「キャリアパスポート」の取組の推進

「ふるさとキャリア教育」の視点を踏まえたキャリアパスポートとなるよう、内容について検討する。

【心の教育推進部会 生徒指導協議会】

○ネットルールに関する取組

児童生徒のインターネット利用の実態把握を行って啓発や情報モラル教育に生かすとともに、実態に合ったネットルールづくりや見直しにつなげる。

○WEBQU調査の活用

各校でWEBQU調査結果についての見取りや学級づくりへの生かし方について研修し、各校の実践や取組について情報共有を行う。

○子ども会議に向けた各校の取組の推進

- ・児童生徒が主体性をもって取り組めるように、子ども会議の運営を工夫する。
- ・人権やいじめ問題を意識した取組となるように支援する。
- ・市小・中学校全体で共通のテーマに向かって取組を実践できるよう支援する。
- ・異校種交流の場を設け、児童生徒が主体的に子ども会議に臨めるようにする

■ 1 学期に行われた研究会・研修会

第 1 回 情報教育研究会

参加者14名

5月17日（水）に市教育センターで情報教育研究会が行われました。各校の ICT 推進教員に加え、市教委から4名参加されました。はじめに市役所の菊池さんが「令和5年度の魚津市小中学校における ICT 機器についての現状と課題」について話をされ、その後全体で今年度の事業計画や研修内容について意見を出し合いました

今年度、WEBQU の実施、グループウェアの変更など、大きな変化があります。本研究会は、「充実した、ICT 教育やプログラミング教育の実施のため、教員のICT活用指導力の向上を図ること」を方針として活動していきます。最後に、教育総務課の前田課長が「今年度魚津市では『ペッパーくん』を使ったプログラミング教育を行うために、小中学校で『ペッパーくん』の活躍の場を設けたい。借りる場合は、市教委学校教育係に電話またはメールで問い合わせの上、運搬に協力してほしい」と話されました。

各校の実態に応じた ICT 教育の推進について考える機会となりました。



第 1 回特別支援教育研究会

参加者42名

4月27日（木）に市教育センターで特別支援教育研究会が行われました。各校の教頭、特別支援学級担任、通級指導担当に加え、市特別支援教育コーディネーターの印田先生、市SSWの橋本先生、市SCの柴田先生が、講師として参加しました。それぞれの講師が「適応指導教室や外部機関との連携について」という内容で、それぞれの役割、適応指導教室「すまいる」の活用を含めた外部機関との連携や校内支援体制について話され、共通理解を図りました。

今年度、各学校の特別支援教育コーディネーターに加え、教育相談コーディネーターが校務分掌上位置づけられました。会の中で印田コーディネーターが「みんなが幸せになるためには『軽いフットワーク』をキーワードに対応していくことが大事です。」と話されました。支援が有機的に行うことができるよう、「軽いフットワーク」で身近なところから実践していきたいものです。



生徒指導研修会

参加者18名

6月1日（木）に市教育センター生徒指導研修会が行われました。今回は富山児童相談所相談支援第1課長 関 勝先生を招聘し、「児童虐待の現状と児童相談所へのつながり」という演題で、講演をいただきました。児童相談所の業務内容や相談の種類など、データを示されながら説明され、身体的虐待や性的虐待、様々な要因が重複したケースといった具体的事例ごとに、①受理の流れ、②内容、③対応を、具体的に説明されました。

児童虐待を発見する上で、日々児童生徒と接する教職員が、極めて大きな役割を担っており、虐待を疑われるような点に気付いたときは、速やかに児童相談所または市町村に報告してほしいとのことでした。関係機関と適切に連携して取り返しのつかない事態になる前に対応しなければならないと思いました。



第1回 若手教員研修会

参加者 2名

魚津市教育センターでは、初任から3年目までの教員を対象とした、若手教員研修会を開催しています。今年度の魚津市の新規採用教員は4名です。その内2名が他県での教職経験があり、若手教員研修会は初任2名、2年次8名、3年次7名の計17名で行います。

5月25日(木)に第1回若手教員研修会を開催しました。今回は初任者のみの2名の出席でした。「受講者間のつながりを作ろう」という研修テーマで、学級運営や授業のなかで起きる悩みなどを出し合い、解決策を話し合いました。

2名ともに小学2年生の学級担任ということもあり、和やかな雰囲気の中にも活発な意見交換ができました。

第2・3回の研修会では、2・3年次の教員に加え、中堅教員がパネリスト、アドバイザーとして参加し、各テーマごとに研修をすすめます。若手教員が仲間とともに成長してくれる研修会になればと考えています。

＜今後の予定＞

- ・第2回若手教員研修会 7月13日(木) 15:30～16:30(市教育センター)
「一人一人が生き生きと活躍する集団づくりのポイント」
- ・第3回若手教員研修会 8月1日(火) 9:00～12:00(市教育センター)
「一人一人を大切にする児童生徒理解のポイント」

指導講話：東部教育事務所 指導課 指導主事 森川 誠 先生



■とやま型学力向上プログラム研修会の案内

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、昨年度は、学級での人間関係を良好にし、子供たちのコミュニケーション能力を高めることを目指して、授業改善に取り組んできました。今年度も、子供の主体的な学びを推進するよう、授業を問題解決型、課題解決型にアップデートしてほしいと願っています。この講演会では、私たちが具体的に何に取り組めばよいのかのヒントをたくさんもらえるとと思います。

第1回講演会

日時 8月18日(金)14:00～16:00

場所 新川文化ホール 201号室

講師 桃山学院教育大学

教授 二瓶 弘行 先生

演題 「確かな言葉の力を育む国語授業づくり」

北海道・稚内から沖縄宮古島まで、47都道府県全てで小学生との飛び込み授業や先生方の研究会を行っておられます。国語授業づくりの面白さと難しさを伝えてもらえます。



桃山学院教育大学HP 教員紹介

<https://www.andrew-edu.ac.jp/human/professor/20.html>

第2回講演会

日時 11月21日(金)14:00～16:00

場所 ありそドーム

講師 明星小学校

校長 細水 保宏 先生

演題 「主体的・対話的で深い学びを通して資質・能力を伸ばす授業づくりー算数・数学のよさや美しさ、考える楽しさを味わうー」

算数教育に長年携わり書籍も多く執筆している細水校長先生自らYouTuberとなり、日々の教育で心がけている「学びの空気」を体験できるYouTubeチャンネルを開設しています。



「細水校長のわくわくチャンネル」

<https://www.meisei.ac.jp/mg/news/2022/2022061401.html>

■魚津市教育センターからのお知らせ

研修事業の予定(7月～)

- 7月25日(火) 情報教育研修会
- 8月1日(火) 若手教員研修会③
指導講話 森川誠先生
- 8月3日(木) 特別支援教育に関する講演会
講師 印田幸代先生
林真奈美先生
- 8月8日(火) 道徳教育に関する講演会
講師 加藤直行先生
- 8月22日(火) 理科教育講座(自然観察)
- 9月21日(木) 生徒指導協議会③
- 10月6日(金) 特別支援教育研究会③
- 11月16日(木) 魚津市こども会議
- 11月28日(火) 生徒指導協議会④
- 2月6日(火) 特別支援教育研究会④
- 2月8日(木) 情報教育研究会③
- 2月15日(木) 魚津っ子の学び向上委員会企画委員
- 2月21日(水) 魚津市教育センター運営委員会
- 2月22日(木) 生徒指導協議会⑤

「すまいる」からのお知らせ

魚津市適応指導教室「すまいる」では、学校生活を送る上で困り感をもつ児童生徒の社会的自立(学校・学級への復帰を含め)を目的とし、本人や保護者と相談しながら、学校やその他の関係機関とも連携して日々の支援を行っています。火曜日～金曜日の10:00～15:00を活動日とし、学習やスポーツに加え、季節ごとの行事を行うなどしています。詳しい日程については、魚津市教育センターのホームページでご覧になれます。

また、月曜日を相談日とし、相談員が保護者の面談を行っています。今年度から魚津市スクールカウンセラーとして柴田孝枝先生が新しく加わり、特別支援教育コーディネーターの印田幸代先生、魚津市スクールソーシャルワーカーの橋本英子先生と一緒に相談業務を行っています。面談の際には予約が必要になりますので、学校を通して事前予約をお願いします。



「笑顔をつなぐ」

魚津市スクールカウンセラー 柴田 孝枝

今年度より、魚津市教育センターでスクールカウンセラーとして勤務させていただいております。

日々、相談者の方々の話に耳を傾け、話される様子や「すまいる」で活動する様子を目にする中で、表情の変化に心を打たれることが多くあります。たとえば、出会った最初の緊張した様子から一転、涙が流れたときは本当の思いを話してくださったと感じ感謝の思いがわきます。また、とびきりの笑顔の瞬間に出会えることもあります。それは、誰かが自分と同じ思いだと気付いたとき、1時間過ごした学校の様子を話すとき、得意な活動をしたときなど本当に一人一人様々です。しかし、共通することは、本人が決意し思いを伝えた瞬間や周囲の大人が思いを理解し子供たちが動き出した瞬間です。このときは子供だけでなく周囲の大人も心からの笑顔になります。これからも、子供たち、保護者の方々、先生方と関わらせていただきながら、笑顔をつなぐお手伝いができるように努めてまいります。

